

発災3日後を想定「6市合同情報伝達訓練」

① 訓練概要

【訓練想定】

- ・発生日時 3月20日 5時00分(訓練実施日：3月23日 ※発災3日後を想定)
- ・マグニチュード 9.0
- ・場所及び深さ 遠州灘、深さ10km
- ・観測された震度 震度7：碧南市、西尾市 震度6強：刈谷市、安城市、高浜市 震度6弱：知立市



▲西尾市役所での模擬記者会見を生中継



▲市内ホームセンターから営業状況などをリポート中継

情報伝達訓練全体像

衛星携帯電話・非常時優先電話による情報伝達訓練



衣浦東部消防本部 西尾市消防本部 衣浦東部保健所
刈谷警察署 安城警察署 碧南警察署 西尾警察署



テレビとラジオで
メディアミックス放送



刈谷駅 ホームセンター スーパー 避難所
刈谷市 安城市 高浜市 知立市 碧南市 西尾市

災害対策本部等 各所からの多元無線中継訓練

発災3日後を想定「6市合同情報伝達訓練」

②地域に働きかけ安心安全を考える機会を提供

Press Release

報道発表資料

西尾市

平成30年3月23日

【訓練】3月23日午前9時現在の被害状況 及び記者会見の開催について

3月20日(火)午前9時に発生した地震による、3月23日午前9時現在の本市の被害状況等を下記のとおり報告します。また、現在の被害状況等について、下記のとおり記者会見を開催します

記

1. 被害状況等について (3月23日午前9時現在)

- 人的被害 死者:107名 重傷者:241名 軽傷者:387名 行方不明者:846名
 - 建物被害 全壊:51棟 半壊:101棟 ※調査の完了した建物のみ
 - ライフライン 上水道:約70%断水 下水道:約10%機能支障
固定電話:約70%通話支障 携帯電話:約50%通話支障
電力:約50%停電
 - 避難者 6,845名
 - 避難所 36箇所開設中
 - 救護所 7箇所開設中
(場所:西尾小、平坂中、三和小、米津小、一色中部小、横須賀小、福豆小)
 - 福祉避難所 開設準備中
 - 生活情報等
 - ・物資 ⇒ 23日正午から各避難所に順次輸送予定
 - ・ごみ収集 ⇒ 24日から順次収集予定
 - ・し尿くみ取り ⇒ 25日から順次収集予定
 - ・罹災証明の申請及び住家被害認定調査の受付について
⇒ 市役所2階 税務課にて受付中
 - ・ボランティアの受付 ⇒ 西尾市総合福祉センターにて受付中
 - ・公共交通機関 ⇒ すべて運行(運航)見合わせ
(名古屋鉄道、名鉄東部交通、ふれんどバス、六万石くるりんバス、
いっちゃんバス、佐久島渡船)
- ※これらの情報は指定避難所に随時情報提供します。

2. 記者会見の開催について

- 日時 平成30年3月23日(金) 午前10時50分から
- 場所 西尾市役所2階 防災会議室 ※記者会見場である41会議室は使用不可のため

問合せ先 西尾市 危機管理局 危機管理課 (災害対策本部事務局)
防災担当 杉浦 康広 (内線2506)
電話番号 0563-65-2138 (直通)
移動系無線呼出番号「100」または、「*」+「内線番号」
移動系無線FAX番号「020」

資料の配布目的(告知希望 取材希望 情報提供 添付資料(有)
会場が非公開等の場合(報道のみ公開 全て非公開 一部非公開)



事前ワークショップ(社員)

自分が当事者だと仮定して…

南海トラフ地震被害想定結果(愛知県)をもとに、発災3日後に

- ・疑問に思うこと、戸惑うこと
- ・困ることを少しでも減らすために今できる備え
- ・避難生活を送る上で知りたい情報 **などを話しあった**



模擬報道内容の検討(行政)

各組織のBCPをもとに、発災3日後の状況、
対処すべきことを考えてもらい、報道内容を考えてもらった

- 自治体: 罹災証明書発行、ゴミ収集、し尿くみ取り
- 警察: 火事場泥棒への注意喚起、道路の被害状況
- 消防: 危険物の漏えいや引火、通電火災への注意喚起
- 保健所: エコノミークラス症候群の予防、食品衛生、心のケア



訓練後の反応

- 自治体 : BCPを改めて考えなおすきっかけになった
- 警察・消防 : 東日本大震災時の支援活動の経験がいかされた
- 保健所 : 住民への啓発内容や方法についてイメージできた

商業施設の営業状況など市民に有益な情報を
届けることができる足掛かりとなった

▲デモで作成してくださったプレスリリース